

## 広域避難実証実験の概要

### 1. 実証実験の目的

甲府盆地では、釜無川、笛吹川等の大規模河川氾濫による水禍は、幸いにも長い間発生していません。そのため、大規模河川氾濫に対する備えが欠如する危険な状況にあります。近年の記録的短時間大雨は、都市の脆弱性を浮き彫りにしました。とくに中央市、甲府市等の上記河川の下流部では、過去に大水害が繰返し発生した際に遊水池の機能を果たしていた低地にも、人家や工場が建ち、多くの市民が生活しています。大規模河川の氾濫では、低地の住民は近隣自治体への避難を余儀なくされます。

広域避難実証実験では、甲府河川国道事務所からの水防警報や堤防の浸食対策の情報に基づき、中央市が要援護者をはじめとする市民の避難計画を策定し、避難を実行します。その際、山梨県へ避難者の受入れ、避難誘導、交通規制等の支援要請を行います。支援を要請する中央市と支援を実施する甲府市、県警本部等の支援機関との間で、相互に適切な情報伝達、状況認識の統一が行われなければ、迅速な避難は実施できません。本実験は、広域連携の手順を検証し、今後の大規模河川氾濫に対する避難対策のために実施します。

### 2. 参加機関

中央市、山梨県（総務部防災危機管理課、県土整備部、警察本部、中北県民センター等）、甲府市他中北地域市町、市川三郷町、甲府地区消防本部、国土交通省甲府河川国道事務所、甲府地方気象台等がプレーヤーとして参加します。

### 3. 災害対応管理システム（無尽）による災害情報共有

山梨大学は、山梨県、中北全市町（甲斐市、甲府市、昭和町、中央市、韮崎市、北杜市、南アルプス市）ならびに市川三郷町、甲府地区消防本部の災害時情報共有を図る災害対応管理システムを開発し、本実験の情報共有環境を提供します。

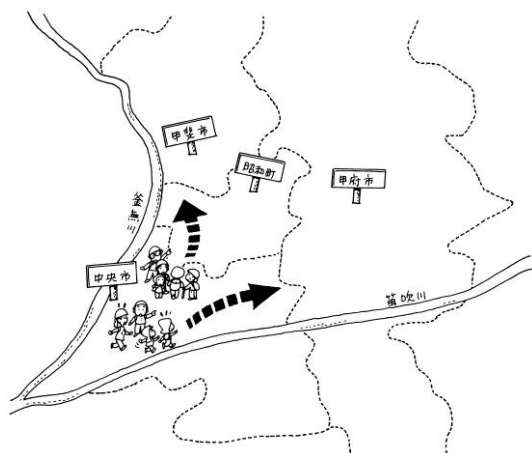


図 中央市からの広域避難模式図



写真 実証実験のイメージ（H22、中央市）

## 実証実験の開催案内

### 1. 実施日時

10月20日（日）9：00～12：00

#### 【概略スケジュール】

9：00～ 9：30 実証実験の概要説明

9：30～11：00 実証実験

11：00～11：30 反省ワークショップ（報道機関関係者のアンケート）

11：30～11：45 プレーヤーのアンケート

### 2. 実施場所

中央市 玉穂総合会館2F多目的室

### 3. 実施内容

釜無川氾濫による中央市の住民の市外への避難を、山梨県をはじめとする関係機関、近隣市町村による支援を、災害対応管理システムを用いた情報共有と状況認識の統一によって、円滑に行えることを検証します。なお、プレーヤーとして、中央市、山梨県（総務部防災危機管理課、県土整備部、警察本部、中北県民センター等）、甲府市他中北地域市町、市川三郷町、甲府地区消防本部、国土交通省甲府河川国道事務所、甲府地方气象台（オブザーバー）等が参加します。

### 4. その他

報道機関の皆様には、災害対応管理システム（無尽）の山梨県版、中央市版、甲府地区消防本部版を操作して、各機関がシステム登録したり、共有して閲覧できる他機関の情報を閲覧していただけます。無尽には、市町が県を介することなく水防警報を受信できたり、山梨県がすべての市町村の情報を閲覧できる等、広域な多機関連携を円滑に図るための工夫が施されています。

各機関の無尽を閲覧していただき、無尽が閲覧できた場合、どのような報道が可能となるかについて、報道機関の皆様にはアンケートに回答していただきます。お手数ですが、ご協力いただきますようお願い致します。